



河北中学校



1 教育目標

すべての生徒に必要なときに、必要なだけ、必要な支援を行う教育をめざす。

(生徒個々の違いを的確に掴み、それにあった教育を行う)

【めざす学校像】わかりやすい学校 (互いにわかろうとし、わかってもらおうとする学校)

2 めざす生徒像

【公の意識を育む】

○自主 (進んで行動)

○自律 (考えて行動)

○自治 (みんなで行動)

3 経営の重点と具体的な取り組み

経営の重点	具体的な取り組み
○生活改善を保護者・地域と共に 《生活改善・学びの基盤作り》	<ul style="list-style-type: none"> ・保野孝弘先生 (川崎医療福祉大) の講演開催、河北中学校区全体で生活改善 (小中連携) ・河北中学校拡大大学校保健委員会を2回開催 (拡充) 校区の学校で共通実践の実施を図る ・「生活Qアップ」調査の継続と課題提示 ・公民館事業との連携 (弁当作り講習・自作弁当の日・昼食作り課題) ・PC、携帯、ネット環境の有益な活用方法の理解促進 ・PTAと連携した生活改善運動の実施
○学力向上 《河北の学びの確立を目指す —現代版ひとりで学ぶ学習—》	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら進んで学習する生徒の育成を仕組む (4人班の実践) ・H26年度に固めた学級作りの基本を振り返りシートで定着させる (安心できる学級作り) ・「河北の学び」の冊子作成とその活用、計画的実践 (振り返りシートの活用) ・英語に優れた学校づくり ・H26年度研究成果を高旗文博教授の指導でさらに推進 (授業実践) ・NRT、CRT、hyper-QUの一層の活用 (実態把握・分析)
○特別支援教育の推進 《生徒支援・人権意識の向上》	<ul style="list-style-type: none"> ・迅速な情報把握、情報共有 (実態把握、家庭訪問) ・支援会議の計画的な実施と検証促進 ・復帰率、前年度以上、新規長欠者前年度以下を目指す。 ・1年生の豊学校居住地交流、手話研修の拡充 ・方法の最適化を求めて倉養交流から倉養ゲストティーチャーに ・「障がい」を中心テーマにすわらじ劇団の公演実施
○本物の体験の拡充 《実感を大切に日常の生活向上に繋ぐ》	<ul style="list-style-type: none"> ・思いを共有する道徳の実施 ・道徳の評価について検討課題とする ・実感を共有できる学校行事の促進 ・土曜授業 (2年目) の試行的実践
○発信できる学校《情報発信と行動発信》	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブページの内容更新を全職員がする ・毎日420件以上、月12,800件以上、年間153,600件以上をめざす ・地域学校委員会の充実 ・文化部による地域調査活動

4 研究に関すること

○研究主題

「集団とのかかわりを通して、自ら考え行動する生徒を育てる」
(自ら進路をひらき、力を伸ばす人間をめざす)

○研究指定等

平成26～28年度

鳥取発「教科でつながるスクラム教育」(東中、河北中、東高)

(鳥取県教育委員会)

平成25～26年度

イングリッシュ・シャワールーム

(鳥取県教育委員会)

平成27年度

スーパーバイザーによる学校教育支援事業

(河北中学校単独)

平成27年度

倉吉市同和教育研究会研究指定

(倉吉市同和教育研究会)

5 特色ある学校行事

○1年生宿泊研修	4月14日、15日	河北中の基礎作り合宿
○生活改善	5月30日	保野孝弘教授を招いて講演 (保護者・生徒) 小学校PTAにも呼びかけ
○松江市内移動訓練 (2年生)	6月12日	
○河北中学校拡大大学校保健委員会	6月、2月	2回開催 (小中公民館等)
○劇団「すわらじ」の公演、3年生のワークショップ	7月3日	
○運動会	9月6日	グラウンド改修に伴い変則開催
○福祉体験研修	10月上旬	1年生
○職場体験	10月上旬	2年生
○校内文化祭	11月7日	教科学習、総合的な学習の時間を連動させた校内文化祭 総合学習発表 (人権劇、職場体験、福祉体験等)